

- 1 学 年 中学2年生
- 2 テ ー マ 生物の進化
- 3 時 期 秋
- 4 所要時間 45分
- 5 人 数 30人程度
- 6 活動場所 スタディールームなど
- 7 準 備 骨格標本（爬虫類・鳥類・シソチョウ）、ルーペ
- 8 展 開 例

学習活動及び内容	指導・援助の留意点
1 本時の学習内容を把握する。 ハチュウ類、鳥類、シソチョウの骨格を比較し、どんなことがわかるだろうか。 2 話し合って予想する。 3 それぞれの骨格を観察して、スケッチをする。 （または骨格イラスト3点を見比べて、共通している部分・異なる部分を色分けする） 4 観察結果から、学び合い活動をする。 （1）観察結果から、それぞれの骨格が教えてくれることを話し合う。 （2）それぞれの骨格の共通点を話し合う。 （3）グループ内で意見をまとめる。 5 まとめをする。	・シソチョウの標本を提示し、シソチョウについて説明を受け、探究心を高める。（博物館職員） ・グループで話し合い活動をもたせ、それぞれの班で、意見をまとめさせる。（担任） ・各々の骨格標本を観察し、特徴について話し合いながらスケッチをさせる。（担任・博物館職員） ・学び合い活動を通して自分の考えを表現し、また他人の意見を受け入れる。（担任） ・まとめをすることによって、それぞれの骨格標本が教えてくれることを明確化していく。（担任）